

# 集中治療病棟におけるバンコマイシンの TDM に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023 年 11 月 16 日 ～ 2030 年 3 月 31 日

## 〔研究課題〕

集中治療病棟でのバンコマイシン(VCM)塩酸塩注の治療薬物モニタリング(TDM)における AUC 評価と急性腎障害(AKI)発現率の検討

## 〔研究目的〕

バンコマイシンの血中濃度を評価する方法において、体内に取り込まれた薬の量を示す指標である AUC で評価することによりバンコマイシンの副作用の一つである AKI の発現率を低下させることが報告されています。集中治療病棟でのバンコマイシンの AUC 評価が AKI の発現率に及ぼす効果を明らかにします。

## 〔研究意義〕

集中治療病棟での VCM の TDM において AUC 評価での有用性は十分に検証されていません。集中治療病棟で VCM 塩酸塩注を使用している患者さんにおいて、血中濃度を従来の方法であった VCM の投与前の血中濃度で評価と AUC 評価における AKI の発現率を比較し、AUC 評価の有用性を明らかにすることで、集中治療病棟で VCM をより有効かつ安全に使用することができると考えられます。

## 〔対象・研究方法〕

対象者:2021 年 2 月 1 日から 2023 年 5 月 31 日に帝京大学医学部附属病院の集中治療病棟で VCM 塩酸塩注の血中濃度を測定した患者さんが対象です。

研究方法:集中治療病棟で VCM 塩酸塩注の血中濃度を測定した患者さんの VCM の血中濃度、血清クレアチニン値、併用薬などの情報を用いて従来の評価方法と新しい評価方法を比較し、急性腎障害の発現率を後ろ向きに解析します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院薬剤部

## 〔個人情報の取り扱い〕

データは個人が特定できる情報を除外した形で登録されていますので個人が特定されることはありません。研究実施中は調査データを薬剤部内の所定の電子媒体内に保存します。収集したデータについては、「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に基づき、研究終了後に電子化したデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、TARC にて 10 年保管の後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 帝京大学医学部附属病院薬剤部 今中翔一係員

所属： 帝京大学医学部附属病院薬剤部

住所：板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 7822 ]